

## 建設産業委員会

### ■今定例会の審議結果

今定例会では勝山市下水道事業特別会計補正予算など議案6件と陳情3件について担当課より詳細な説明と意見を求め慎重に審査しました。審査の結果、議案6件は可決、「市道認定に関する陳情書」など陳情書3件を採択しました。

また委員会から提出された「今後の水田農業政策に関する意見書」「農業改革に関する意見書」を可決し関係省庁に提出しました。

### 雇用促進住宅鹿谷宿舎の取得の有無について

雇用促進住宅は、平成33年度までに全国の住宅の譲渡・廃止を完了することとされており、これまで全国の約1,500宿舎のうち、半数の宿舎が廃止決定され地方公共団体または民間事業者への売却等が進められてきています。当市においては平成20年に下毛屋宿舎を取得しています。今回、残りの宿舎について調査があり、所管の独立行政法人 高齢・障害・求職者支援機構から



雇用促進住宅鹿谷宿舎

鹿谷宿舎の取得意向の有無についての確認がありました。市としては、①土地・建物購入費約5千万円とエレベーター・通路の設置費約2.4億円などの改修費が必要。

②平成32年度の公営住宅の必要戸数は210戸と想定しており、現在は鉄筋コンクリート造の市営住宅は180戸あり、ここ5カ年で民間賃貸住宅が66戸も新築されている。以上により、鹿谷宿舎は取得せず、民間賃貸住宅の新築や利用状況を見ていく中で、木造住宅の建て替え等を検討する考えが示されました。委員からは、鹿谷インターに近く、市内外の若者等の定住対策として宿舎を活用すべきという意見や、取得すると結局最後には莫大な解体費用が必要になる等の意見が出されました。

### 工業振興助成金の見直しについて

本市における事業者の育成及び企業の立地促進を図るため、勝山市工業振興条例の見直し(案)が示された。今回の案は、対象者の見直し、業種等の追加、雇用要件の緩和、空き工場等活用助成金の限度額引き上げ等の改正で、今後、意見をいたさないながら3月定例会に提出する予定とのこと。委員からは、助成金対象業種の選定根拠や対象外になった職種についての説明を求める意見等が出されました。

## 予算委員会

本委員会は、付託を受けた議案2件につき2日間にわたり慎重に審議を行いました。

### 議案第34号 平成26年度 勝山市一般会計補正予算(第4号)

北谷町コミュニティセンター指定管理業務については、北谷町住民の意思を汲み取り、永続性のある事業になるよう理事者に指摘しました。はたや記念館ゆめおれ勝山活用推進事業委託では、事業委託の形態を再度精査し、受託者の自由度が高まるよう工夫していくことなどを求めました。

またなかダイノスクエア推進事業費については、来年度のダイノスクエアの在り方、その目的等を明確にするにとともに、長期的ビジョンとの整合性を確立した上で実施するよう強く指摘したところです。

### 議案第50号 平成26年度 勝山市一般会計補正予算(第3号)に関する専決処分の承認を求めることについて

12月14日に行われた衆議院議員総選挙に係る費用の補正で、議会に諮る時間的余裕が無かったため、地方自治法第179条第1項の規定により、専決処分したものです。

## 特別委員会報告

### 新体育館建設特別委員会

本特別委員会は、12月16日に委員会を開き、付託されました「新体育館の建設工事請負契約の変更について」理事者から、詳細な説明を受け慎重に審査し、原案のとおり可決しました。

今回の変更は、国の公共工事設計労務単価の見直しと、抗工事における施工機械の変更等に伴うものです。また、これまでの議論を踏まえ、9月定例会以降、2回にわたり委員会を開き、新体育館建設工事の進捗状況、新体育館の備品購入計画、及び既存体育施設のあり方について、理事者の出席を求め、詳細な説明を聴取いたしました。

委員会は、備品の購入にあたっては、各種補助事業を最大限に活用して、効率的に配置できるように提言しました。また、体育施設のあり方については、理事者が検討したいくつかの案に対して、市民のニーズにこたえられるようにさらに精査するよう求めました。



新体育館建設状況

## 常任委員会報告

### 予算委員会・建設産業委員会

## 特別委員会報告

### 新体育館建設特別委員会